

## 店舗・店舗外ATMのご案内

## ○店舗

本店営業部	鶴岡市馬場町1番14号	TEL 0235-22-2350
酒田営業部	酒田市中町三丁目6番3号	TEL 0234-23-2311
西支店	鶴岡市みどり町32番61号	TEL 0235-22-8077
大山支店	鶴岡市大山二丁目23番32号	TEL 0235-33-2135
錦町支店	鶴岡市錦町15番15号	TEL 0235-23-6644
美原町支店	鶴岡市馬場町1番14号(本店営業部内)	TEL 0235-24-3277
文園支店	鶴岡市千石町3番37号(サウスモールミーナ)	TEL 0235-24-7350
藤島支店	鶴岡市藤島字笹花61番地の1	TEL 0235-64-3555
東支店	鶴岡市錦町15番15号(錦町支店内)	TEL 0235-23-1601
戸野町支店	酒田市中町三丁目6番3号(酒田営業部内)	TEL 0234-22-3165
若竹町支店	酒田市若竹町二丁目3番8号	TEL 0234-22-3845
東大町支店	酒田市東大町二丁目1番地16	TEL 0234-23-4833
余目支店	東田川郡庄内町余目字上朝丸95番地	TEL 0234-43-2444

	本店営業部美原町出張所	鶴岡市美原町29番35号
○店舗外ATM	酒田営業部戸野町出張所	酒田市相生町一丁目3番19号
	錦町支店東出張所	鶴岡市東原町1番38号

※文園支店及び酒田営業部戸野町出張所にセブン銀行ATMを併設しております。

令和8年5月末現在

## つるしんのキャッシュカードがご利用可能なATMのご案内

	お取扱業務	ご利用時間			手数料	
		平日	土曜	日曜・祝日	時間内	時間外
 鶴岡信用金庫	出金・入金	8:00 21:00	8:00 19:00	9:00 17:00	無料 平日・土曜	110円 (入金無料)
 しんきんATM セロネットサービス	出金・入金	8:00 21:00 (一部20:00)	8:00 19:00	9:00 19:00	無料 平日08:45-18:00 土曜09:00-14:00	110円
 荘内銀行 山形銀行 きらやか銀行	出金	8:00 21:00	8:00 21:00	8:00 21:00	無料 平日09:00-18:00	110円
 ローソン銀行 LAWSON BANK	出金・入金	7:00 22:00	8:00 22:00	8:00 22:00	無料 平日・土曜	110円 (入金無料)
 セブン銀行	出金・入金	7:00 22:00	8:00 20:00	8:00 20:00		110円 110円
 ゆうちょ銀行	出金・入金	8:00 21:00	8:00 21:00	8:00 21:00		110円 220円 平日08:45-18:00 土曜09:00-14:00
 イオン銀行	出金・入金	8:00 21:00	8:00 21:00	8:00 21:00		110円 220円 平日08:45-18:00 土曜09:00-14:00
 VIEW ALTTE ビューアルツテ	出金	7:00 23:00	8:00 23:00	8:00 23:00		110円 220円 平日08:45-18:00 土曜09:00-14:00
 三井住友銀行	出金・入金 *入金ネット加入 機能のみ	8:00 21:00	8:00 21:00	8:00 21:00		110円 220円 平日08:45-18:00 土曜09:00-14:00

○ご利用されるATMにより、ご利用時間や金額が異なる場合があります。 令和8年5月末現在

発行



鶴岡信用金庫

山形県鶴岡市馬場町1番14号  
TEL 0235-22-2360(代)
<https://www.tsuruoka-sk.jp/>

第101期

## 業務報告書

Tsuruoka Shinkin Bank

2025年4月1日~2026年3月31日  
当金庫の健全性について

つなぐ力で100年幸せな街づくり



鶴岡信用金庫



会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、令和7年度事業の概況等のご報告を申し上げます。

### 【事業方針】

令和7年度は、第22次経営強化推進3ヵ年計画の2年目にあたり、3ヵ年計画の基本テーマである「とことん庄内～全力共創で拓く次の100年～」を経営計画の基本テーマに掲げ、4つの経営目標における重点施策の中から特に重視したい6項目を選定しました。

また、計画を実践するにあたり、当金庫創立100周年の記念すべき年に全役職員の力を集結して取り組んでいくことを目的に、単年度のサブテーマとして『各自が発揮する〇〇力！～全員の力の総和が鶴岡信用金庫の全力！！―鶴岡信用金庫100年目の挑戦―』を改めて設定し、その達成に向けて取り組んだ一年となりました。

### 【金融経済環境】

令和7年度の日本国内の金融経済環境は、デフレ脱却後の移行期にあり、景気は緩やかに回復する動きがみられました。物価は2～3%程度の上昇が続き、企業の価格転嫁や賃上げが進展する一方、実質賃金の伸びは限定的で個人消費は力強さを欠いたものでした。こうした中、日本銀行は金融政策の正常化を進めていますが、実質金利は依然マイナスで金融環境は緩和的であります。

また、設備投資は増加傾向にあり、企業関係は比較的堅調に推移した年度となりました。

### 【業績】●預金

預金については、個人預金は対前期末比2,928百万円の減少となりました。相続による流出や、預かり資産商品へのシフトなどその要因は複合的です。

法人預金は、地方公共団体預金が6,920百万円減少するなどにより、対前期末比7,881百万円の減少となりました。

この結果、預金全体では対前期末比10,809百万円(▲5.25%)減の1,948億円となりました。



### ●貸出金

貸出金については、法人向け融資が運転資金・設備資金ともに増加したことに加え、地方公共団体向け貸出が増加したこともあり、法人計では1,503百万円の増加となりました。

個人向け貸出は、住宅ローン316百万円の減少などもあり、計159百万円の減少となりました。

この結果、貸出金全体では対前期末比1,344百万円(1.67%)増の818億円となりました。

### ●損益

収益面については、市場金利の上昇により預金利息などが増加した一方、貸出金利息収入などの増加に加え、有価証券利息配当金の増加により、経常利益1,698百万円、当期純利益1,136百万円を確保いたしました。

### ●会員・自己資本(純資産)

協同組織金融機関の基本である会員数は20,033人、普通出資金は14億5百万円であり、内部留保を含めた純資産の額は181億7百万円となりました。

### 【事業の展望及び当金庫が対処すべき課題】

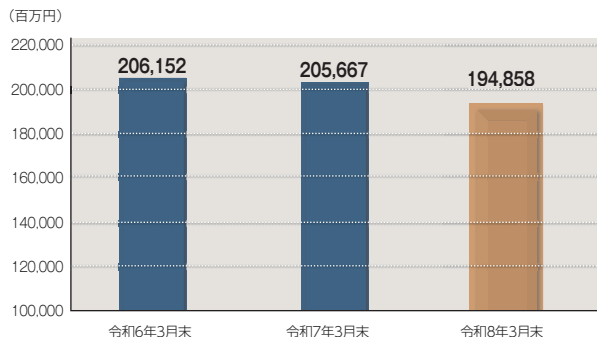
当金庫の営業地区である庄内地域において、急速に進む人口減少、後継者不足による事業所数の減少等の地域課題や、物価高などへの対応は重要な経営課題となっています。また、マネロン対応やサイバー攻撃、災害対策等に関する脅威の高まりを受け、経済情勢の大きな変化が予測される環境におけるリスク管理の高度化は今後さらに重要になるものと強く認識しています。

これらの課題への対応遅れにより取引先を失うことは、将来的な当金庫の事業モデルへの影響も大きく、役職員が一丸となって課題解決や新たな価値創造に挑戦していきます。そのためにも業務の高度化、専門化に対応すべく計画的な人材育成を実施し、自発的な学びを奨励し、自ら使命感や向上心を持って成長しようとする職員を応援する計画としています。

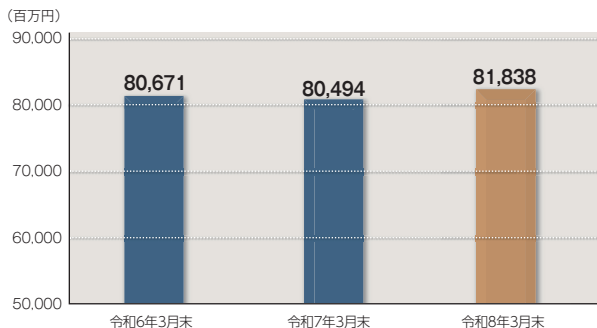
令和8年度は、第22次経営強化推進3ヵ年計画の最終年度にあたり、当金庫における課題解決に積極的に取り組み、当金庫の経営理念である「地域の中で最も身近で、便利で、頼りになる」地域金融機関としての評価を頂けますように事業を推進して参ります。

# 当金庫の健全性について

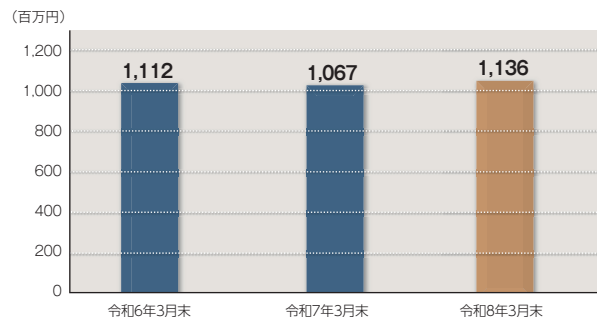
## 預金積金残高の推移



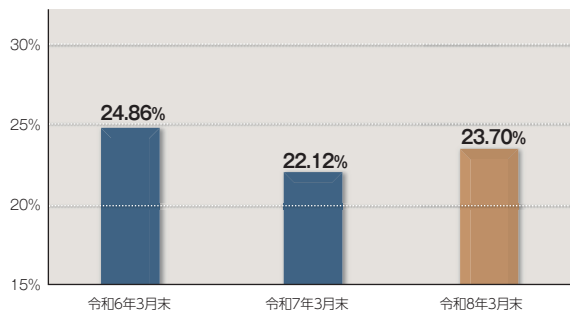
## 貸出金残高の推移



## 当期純利益の推移



## 自己資本比率の推移



## 金融再生法開示債権

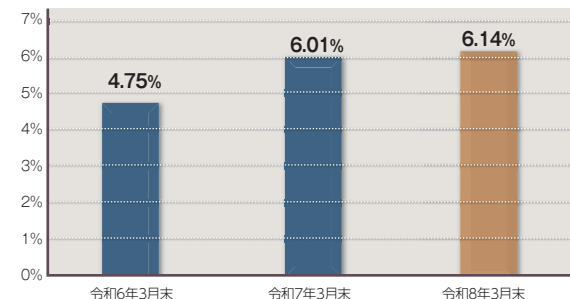
不良債権比率 **6.14%** 保全率 **98.07%**

単位:百万円

区 分	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証(c)		貸倒引当金(d)	保全率(%) (b)/(a-c)	引当率(%) (d)/(a-c)
			担保	保証			
金融再生法上の 不良債権	5,065	4,968	4,181	786	786	98.07	88.97
破産更生債権および これらに準ずる債権	698	698	437	261	261	100.00	100.00
危険債権	4,135	4,124	3,608	516	516	99.74	97.98
要管理債権	231	144	135	9	9	62.53	9.41
正 常 債 権	77,433						
合 計	82,498						

※「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しています。

## 不良債権比率の推移



## 貸借対照表

第101期 令和8年3月31日現在

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金	2,936	預金積金	194,858
預け金	35,914	当座預金	886
買入金銭債権	53	普通預金	78,556
有価証券	94,777	貯蓄預金	506
国債	21,232	通知預金	200
地方債	1,125	定期預金	106,478
社債	45,275	定期積金	4,135
株式	9,554	その他の預金	4,094
その他の証券	17,588	借入金	7,231
貸出金	81,838	借入金	7,231
割引手形	198	その他負債	929
手形貸付	6,083	未決済為替借	20
証書貸付	71,329	未払費用	323
当座貸越	4,225	給付補填備金	3
その他資産	1,596	未払法人税等	286
未決済為替貸	13	前受収益	76
信金中金出資金	1,113	払戻未済金	6
前払費用	20	払戻未済持分	10
未収収益	289	リース債務	112
その他の資産	160	その他の負債	89
有形固定資産	1,887	賞与引当金	49
建物	1,101	退職給付引当金	-
土地	511	役員退職慰労引当金	111
リース資産	91	その他の引当金	136
建設仮勘定	-	繰延税金負債	-
その他の有形固定資産	182	再評価に係る繰延税金負債	26
無形固定資産	69	債務保証	178
ソフトウェア	55	負債の部合計	203,521
リース資産	13	(純資産の部)	
その他の無形固定資産	1	出資金	4,405
前払年金費用	311	普通出資金	1,405
繰延税金資産	3,021	優先出資金	3,000
債務保証見返	178	利益剰余金	20,737
貸倒引当金	△940	利益準備金	1,930
(うち個別貸倒引当金)	(△777)	その他利益剰余金	18,807
その他の引当金	△15	特別積立金	16,520
		(経営基盤強化積立金)	(1,050)
		(店舗整備積立金)	(252)
		(記念行事積立金)	(99)
		当期末処分剰余金	2,287
		処分未済持分	-
		会員勘定合計	25,143
		その他有価証券評価差額金	△7,101
		土地再評価差額金	66
		評価・換算差額等合計	△7,035
		純資産の部合計	18,107
資産の部合計	221,628	負債及び純資産の部合計	221,628

## 損益計算書

第101期 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:千円)

科目	金額	金額
経常収益		7,244,608
資金運用収益	3,536,515	
貸出金利	1,600,258	
預け金利息	212,422	
有価証券利息配当金	1,698,470	
その他の受入利息	25,363	
役員取引等収益	205,363	
受入為替手数料	73,243	
その他の役員収益	132,119	
その他業務収益	11,433	
外国為替売買益	-	
国債等債券売却益	6,709	
国債等債券償還益	-	
その他の業務収益	4,724	
その他経常収益	3,491,295	
貸倒引当金戻入益	-	
償却債権取立益	5,340	
株式等売却益	3,456,362	
その他の経常収益	29,592	
経常費用		5,546,193
資金調達費用	493,370	
預金利息	474,126	
給付補填備金繰入額	3,333	
借入金利息	14,301	
その他の支払利息	1,607	
役員取引等費用	229,551	
支払為替手数料	17,541	
その他の役員費用	212,010	
その他業務費用	2,559,623	
外国為替売買損	-	
国債等債券売却損	2,559,545	
国債等債券償還損	-	
国債等債券償却	-	
その他の業務費用	78	
経費	1,781,137	
人件費	1,042,589	
物件費	662,983	
税金	75,563	
その他経常費用	482,510	
貸倒引当金繰入額	279,871	
貸出金償却	228	
株式等売却損	-	
株式等償却	-	
その他資産償却	5,724	
その他の経常費用	196,685	
経常利益		1,698,415
特別利益		-
固定資産処分益	-	
その他の特別利益	-	
特別損失		64,260
固定資産処分損	52,168	
減損損失	12,092	
その他の特別損失	-	
税引前当期純利益		1,634,154
法人税、住民税及び事業税	473,874	
法人税等調整額	23,431	
法人税等合計		497,306
当期純利益		1,136,848
繰越金(当期首残高)		1,069,699
店舗整備積立金取崩額		22,000
記念行事積立金取崩額		59,000
当期末処分剰余金		2,287,548

## 第101期(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額
繰越金(当期首残高)	1,069,699,577
当期純利益	1,136,848,691
当期末処分剰余金	2,206,548,268
店舗整備積立金取崩額(目的)	22,000,000
記念行事積立金取崩額(目的)	59,000,000
剰余金処分額	1,178,115,618
利益準備金	120,000,000
普通出資に対する配当金 (年2.0%)	28,115,618
優先出資に対する配当金 (年0.5%)	30,000,000
事業の利用分量に対する配当金 (一円につき一円の割合)	—
特別積立金	1,000,000,000
(経営基盤強化積立金)	(50,000,000)
(店舗整備積立金)	(20,000,000)
(記念行事積立金)	(20,000,000)
繰越金(当期末残高)	1,109,432,650

注記 優先出資の配当率は、発行価額に対する配当率を表記しております。

以上のとおり報告いたします。

令和8年6月

## 鶴岡信用金庫

理事長(代表理事)	佐藤 祐 司
常務理事(代表理事)	藍 博 之
常 務 理 事	伊 藤 晃 一
常 勤 理 事	池 田 章 良
理 事(非 常 勤)	高 城 傑
理 事(非 常 勤)	佐 藤 正 一 ※1
理 事(非 常 勤)	菅 原 真理子 ※1

以上各項、監査の結果その正確なることを認めます。

常 勤 監 事	新 橋 芳 武
監 事(非 常 勤)	永 田 斉
監 事(非 常 勤)	高 橋 健 彦 ※2

なお、第101期事業年度に係る計算書類についてはグローリー監査法人の監査を受けており、適正と認められております。

※1 信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

※2 信用金庫法第32条第5項に規定する員外監事です。

当金庫は、令和7年11月11日に創立100周年を迎えました。永年のご愛顧に対する感謝の気持ちとして、創立100周年記念事業を実施するとともに、令和7年度の経営計画における経営目標の1つに「とことん"ありがとう"を掲げ、地元庄内への感謝の気持ちとして、地域社会の持続的繁栄や地球環境に配慮した事業活動等に取り組んでおります。

## ● 創立100周年記念事業

創立100周年記念式典を開催し、庄内地域の2市3町と文化・スポーツを行う各種団体への寄付を行いました。また、創立100周年記念事業として、レオナルド・ダ・ヴィンチ没後505年「夢の実現」展への特別協賛や親善ゴルフコンペの開催、チャーター機での名古屋・伊勢神宮旅行など各種イベントを行いました。



創立100周年記念式典



レオナルド・ダ・ヴィンチ展



親善ゴルフコンペ

## ● 福祉・ボランティア活動

持続可能な社会の実現に向け、当金庫では金融サービスの提供に留まらず、福祉・ボランティア活動等を通して様々な地域課題の解決に取り組んでおります。令和7年度は地域貢献活動として清掃活動への協力や献血活動への協力等を行いました。



羽黒山清掃活動の実施



クリーンアップin湯野浜への参加



献血活動への協力

## ● 鶴岡信用金庫 若手経営者塾

地域経済の次代を担う人材育成を目的として平成28年に開塾した「鶴岡信用金庫若手経営者塾—マネジメント・キャンパス—」が令和7年度で10期目を迎えました。令和7年度においては、全9回の講義を行い、42名の塾生が卒塾、これまでに約300名の卒塾生を地域に送り出しています。



講義風景



卒塾式

